

# 6-9

演題	福祉専門職による地域社会との協働的取り組み
副題	～介護の専門性を地域に活かす～

地域社会
地域連携

法人名	社会福祉法人 八寿会
施設名	村岡宮前ローカルサイト

発表者名 (職種)	瀬戸 ひろみ その他
共同発表者	植松 達也
共同発表者	
共同発表者	
共同発表者	

都道府県	神奈川県
住所	藤沢市宮前 380-1
TEL	0466-52-6675
FAX	0466-52-6672
メールアドレス	midorinosono.jinzai@gmail.com
URL	

今回の発表施設 またはサービスの 概要	2001年に開設以降、藤沢市に5つ、鎌倉市で1つの拠点を構え、特別養護老人ホームやデイサービス、定期巡回随時対応型介護/看護、放課後型デイサービスなど約20の事業を運営している。
---------------------------	---

## 研究の目的、PRポイント

八寿会の運営している施設は、住宅地の中にあり、地域支援活動等の公益的取り組みを行っている。地域支援に関する活動は、町内会との関りや地域でのイベント、地域の他団体との関り等広く展開している。なかでも「村岡宮前ローカルサイト」は地域福祉の拠点として重要な役割を担っており、多世代交流や居場所づくりを目的として、地域の発展や活性化を目指し、協働的な活動をしている。

## 取り組んだ課題

地域の方より「防災に関して詳しく知りたい」「地域講座に足が痛くて行く事ができない」「ママたちの居場所づくりをしたい」等の声があり、地域の方のニーズを知る事ができた。地域の想いをかたちにできるように取り組む際、私たちが主となって動くのではなく、主体は地域の方である事を基本に協働的な取り組みを行った。地域の他団体と連携・協働して『地域防災』『介護予防』『中学校福祉講座』等を実施した。

## 具体的な取り組み

- 地域自治会、老人会、子ども会との関わり  
地域の方の思いを吸い上げ、自治会会議の場所、老人会の作品の展示、子ども会の夏祭り、ママのお話会、季節のイベント等、場所の提供や活動への協働と福祉的な支援に取り組んだ。又、地域講座として、毎月書道教室を開催している。
- 地域団体との協働的な取り組みと法人間の連携した取り組み。  
地域ボランティア団体、地区民生委員、他縁側事業等と連携し、情報の発信及び情報共有。地域包括センター、公民館、行政、地域の縁側事業が連携、協働し、『地域防災』『中学校福祉講座』『家族介護者教室』等を実施。法人職員が専門性を発揮し、法人全体で地域社会に貢献する事を目標に取り組んだ。  
地域防災では、避難場所まで歩くイベントを開催し、段差や溝に車いすのタイヤが引っかかってしまう事、段差の乗り越え方等を介護職員よりお伝

えする事ができた。

中学校福祉講座は、福祉について授業で取り入れていくご相談があり、地域包括支援センターや福祉用具、薬局、介護職員が協働し、中学校の生徒が、車いす体験やお薬ロボ体験・高齢者疑似体験を通して、興味関心が持てるよう取り組んだ。高齢者の心身の変化や対応方法などを介護職員が伝える事で、より介護の専門性を活かす事ができた。市からの委託事業として、家族介護者教室を実施。介護職員による排泄介助、看護師による高齢者の病気の特徴、介護支援専門員による居宅介護支援事業所の役割について講義を行った。

## 活動の成果と評価

地域、他団体、行政等と協働、連携した活動ができたのは、日々のコミュニケーションと繋がりを大切に、今まで積み重ねてきたからこそである。又、法人職員が地域支援に触れるきっかけづくりとなった家族介護者教室では、福祉の専門性を活かす事ができ、他職種との繋がりを持つ機会となった。地域の方には『介護』を知ってもらえる事ができ、施設内勤務の介護職員は『地域』に対し、興味関心を持つきっかけになったと考える。

## 今後の課題

地域支援では、日常的にコミュニケーションを図りながら、外出できない方や情報を得られない方が、どうしても外出機会や情報を得るきっかけづくりができるか等も考え、今後も取り組んでいく必要がある。地域活動に介護現場の職員が興味・関心を持って地域活動に参加できる機会を持ち、地域社会に貢献する事を目指していく。又、地域住民の介護についての悩み事や疑問に対し、専門性を発揮する事で、職員の人格と能力の向上になると考える。